

令和7年度 第1回 大牟田市協働のまちづくり推進委員会（摘録）

開催日時 令和7年 11 月17日(月) 10 時 00 分～12 時 15 分
開催場所 大牟田市市民活動等多目的交流施設えるる 2階 中研修室
出席者 委員 11名
行政 9 名
欠席者 0 名
傍聴者 報道関係 0 名、一般傍聴 0 名

次 第

1. 開会

2. 挨拶

市民協働部長が挨拶を述べた。

3. 委員紹介

所属団体内での交代により、9 月から新任となった委員2名の紹介及び事務局の紹介を行った。

4. 議 事

(1)「大牟田市地域コミュニティアドバイザー会議(仮)」の進捗状況について

事 務 局	(「大牟田市地域コミュニティアドバイザー会議(仮)」について別紙資料により説明)
副委員長	(部会「明日の地域コミュニティを共に考える会」の活動状況について別紙資料により報告)
(質 疑)	
委 員	部会の会議でまち協や公民館の加入率についての話が出たか尋ねたい。 以前、まち協の設立の会議で、まち協設立の理由の一つに公民館の加入率を上げるという話があった。今までの努力の中でも、実際は公民館の加入率が下がっている傾向。この新たな会議の場で、公民館の加入率の低さについて話が出ているか教えていただければ。
事 務 局	会議では地縁組織の代表である元委員から、日本にある公民館・自治会の文化は加入率 50%を超えており世界でも稀であるという話があった。公民館の加入に必ずつなげるのかという議論では、自分の家の前に住んでいる方は、まち協や公民館には加入していないが、何かあったら協力するというゆるやかな繋がりがある、といったコメントをいただいている。
委 員 長	若い人が災害や防災よりもレクリエーションに参加できることにメリットを感じているというのがポイント。防災とレクリエーションを掛ける。楽しみながら防災をし、子どもも参加できるゲーム的要素があると参加しやすい。また、地域の年配者との関わりとして、ニュースポーツみたいなものに多世代が一緒に参加できて、尚且つ防災や地域の問題を考えるような啓発もできる。楽しいというのが一つのキーワードとなって、「自分にも出来るんじゃないかな」と思ってもらおう。そういう事を考えていくと良い。
委 員	あすとも会の会議にも参加しているが、地域の活動実践者については 70 歳を超えている。10 年後の明日の地域コミュニティが見えない状況。家族力、地域力が落ちている中今まで

	の枠組みでどうしていくかは心配。公民館の加入率 60%といっても実際に活動できる人は 30%くらいか。人口減、高齢化、単身高齢者世帯の増加、実際に活動が出来る人を増やしていくことが必要であると実感している。地縁集団から機能集団へ転換させていかないと厳しいというのが実感。
委員長	そういう点では、あすとも会の企業向け研修は一つの打開策となる。
副委員長	地域の祭りの担い手となる人は、地元に住んで地元で働いている人。働く場所が大牟田ではない人が地域のコミュニティで主体的に参加をするというのは難しく、委員がおっしゃった状況はある。幸い大牟田は地域に事業所があるので関わるきっかけを作って、地域に関わると面白い、楽しいことだと思ってもらえるようにしていければ。数は少なくとも若い世代で頑張っている人に重点的に話を聞き、地域に関わって良かったことを積極的に PR していくことで、他の人が「自分も関わって良いのだな」、と思ってもらえるよう情報発信をしていく必要がある。
委員	昨日えるの周辺で『100円玉笑店街』というイベントがあり、高校生ボランティアが沢山参加していた。単なる頭数ではなく、色々な意見を出して貰い、企画から参加してもらうことが大切。鹿児島か神奈川では地縁組織に高校生を役員として入れているところがある。サークルや部活感覚のように参加していて、若い人の参加があると60代から 80 代の人たちがものすごく活性化される。
委員	商工会議所の青年部や青年会議所での研修については1月に予定しているとのことだが、1月は年度替わりの時期なので、早めに周知を。

(2)市民と行政との協働事業及び市民参加の実施状況について

①市民と行政との協働事業について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員長	観光おもてなし課は何部なのか、参考資料に部局名があると良い。(外部の人には)課名からは部局が分かりにくい。
事務局	次年度から部局名を追加する。
委員長	資料の8ページ目、企業局、教育委員会、会計課・事務局は3年間ゼロだった。実績はあるのではないかとのことだったが、今回は教育委員会が報告として挙がっている。次回以降も報告を。資料9ページ、形態別では共催も少しずつ増えている。指定管理が毎年1件ずつ減っているのは部署が減っているからなのか？
事務局	施設が廃止になったもの、既存施設をまとめて1件として指定管理に出すようになったもの、新規施設などの増減である。
委員長	資料11ページ、協働の相手方で見ると、地域コミュニティ組織は少し低迷して、市民活動団体は、むしろ3年間で一番高い。コミュニティの衰退の話で出たがここからも見える。活動分野で見ると、子どもの健全育成の分野では回復して過去3年間の中で最高になっている。学術・文化・芸術・スポーツの振興、これは範囲が広いが、主に文化・芸術が伸びたのか？

事務局	文化財関係は情報を把握していないが、資料10ページ、⑥の令和5年度の数字は、文化会館の施設がスプリンクラーの水損事故で使えなかったことが、文化団体の公演の実施数の減少につながったことが背景にある。その跳ね返りが令和6年度の件数。
委員長	直観的な話になるが、高齢で体は動かなくても文化的な活動への参加は脳も活性化すれば何歳になっても出来る。そういうものを楽しむ場があると件数が伸びる余地もある。①～③の保健・医療・福祉の増進の分野、子どもの健全育成の分野などと掛け合わせると、両方の事業が伸びる可能性もある。それは福祉の分野にも関わってくる。社協の方でも異分野との掛け合わせをやってみると面白いかもしれない。男女共同参画は、前2年間ゼロ件だったものが、2件になっている。新型コロナの5類移行で活動が活発化して新しい活動が出てきたとか、市民活動の現場では実際何か伸びた話を聞か？
委員	教育委員会が伸びたのは協働の仕方が色々あるので、それをカウントするようになったとか。また、色んな任意団体があるが市役所に事務局があつて、えるの予約を取る際も、団体ではなく市役所から連絡がある。それも人的か物的な支援での協働としてカウントしないといけない。しかしいつまでも市役所が事務局をするのではなく、独立するように伝えなければいけない。そこにえるの役割もある。文化・芸術の意識も高まっている雰囲気は貸室の状況をみてもあるかと。
委員長	オーケストラを招いて、とかの文化・芸術的なものだけでなく、少し気軽な文化系サークル活動などが盛んになると、子育て中のお母さんも出てきやすい。そこで高齢者と交流し始めると活動が活性化する。高齢者の孤立が問題になっているが、独居＝孤立ではない。みんなと交流があれば孤立はしない。独居の人達を孤立させない取り組みがあつてそれを通じて地域コミュニティの大事さ、良さをわかってくれれば、加入されるのではないかと。最近では高齢を理由に活動が出来ないからと地域コミュニティを退会する人がいる。個人的には、活動資金が枯渇してしまうので、草刈りや活動に参加できなくても退会までせずに、意識を転換して、若い人には活動を頑張ってもらって、高齢になったら会費だけでも払い続けていただけたらと思う。
委員	文化・芸術ということで、先日明治小学校の芸術鑑賞会に行ってきた。小山雲母さんという東京の舞台で活躍されている明治小学校出身の女優さんが小学生の好きな歌を歌われたステージだった。子どもたちも親もノリノリで一緒に歌った。高齢者もその場にいたらとても楽しめたと思う。小学校1校だけでは勿体ないと感じた。大牟田出身で活躍されている方は知らないだけで他にもいる。探してイベントとして挙げていけると参加者が集まりやすいのでは。
委員長	コミュニティの中心になる所という小学校区がある。そこで集まれるのはいいこと。小学校の統廃合の話があるが、小学校の統廃合はあまりしない方がいい。コミュニティの中心が無くなるということ。子どもが歩いて行ける範囲が小学校区、そこを活用すると、大人も高齢者も集まりやすい。
委員	大牟田出身者の活躍ということで、今年の1月に誕生した大牟田のヒーローギャンダインという方がいる。誕生前にご縁があり関わっているが、今年は無料でも来年からは有料なのでこの報告は活動分野には上がらないのだろう。 文化・芸術ということでは一緒に事業をしている人の父親が昭和の漫画コレクターで、昨年も大牟田出身の萩尾望都さんの漫画の展示会を大型商業施設でされた。年配の方もいらっしゃって大変盛り上がった。 報告書の活動の分野の⑩経済活動の活性化はゼロ件である。大牟田商工会議所の創業塾を卒業し自分たちはこの大牟田を盛り上げるために事業をやっていきたくて思っているが、巢立ったばかりでどう伝えて良いかわからず、協働をしたくても「営利活動ですね」ということで断られる。親子でも楽しめる場所、お母さんもほっとできる場所を作ろうと活動を始めて半年、足踏み状態である。うまく伝えることができれば協働も出来たのかもしれない。

委員長	産業経済部にどうしたら市と協働できるか相談してみるのもありではないか。大牟田の活性化のためにということで、損をしない程度で。営利目的が最初にあるのではないならば、そういった活動も協働になりえるのではないか。
委員	報告書の活動分野は特定非営利活動促進法で定められた20分野。NPO法人であれば、例えば活動分野の⑥、⑩の事業として大牟田出身の漫画家を取り上げ、事業をやって収益をあげればよい。その収益をどう使うか、大牟田市民のためにやる、事業の活性化のための広報に使うなど、手法は色々ある。
副委員長	資料11ページのグラフにある協働の相手方数の「事業者」の3年間の推移について、参考資料をみるとほとんどが指定管理者、他にいくつか企業が関わったことがあるとしか把握できないが、地域の協働と繋がるような営利活動をしてあれば、報告対象を広くとらえて増やしていくというも。祭りをする時の協賛はこの報告に含まれないのか？
事務局	この事業一覧は大牟田市の事業から協働しているものを抽出している。祭りの協賛については、祭りの実行委員会が貰うものなので、実行委員会と事業者との協働ではあるが、そこは拾っていない。

②市民参加の状況について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員長	参考資料のパブリックコメントで回答数が多いものは、周知方法であらゆる手段を使っている。全世代に対応するためには必要なのだろう。
副委員長	調査では男女は分かるが、広報の成果を計る上で、年代別の参加状況が分かるようなものがいいと思う。
事務局	アンケートによって聞き方が違うので、全て同じ項目という訳ではないが、ご意見の視点は面白い視点だと感じる。
委員長	公募委員や女性委員に関しては徐々に増やしてきているところに努力を感じる。
委員	以前の会議で、パブリックコメントの件数が全体的に少ないので、件数を上げるための手法についてご意見を申し上げた時に、年配の委員の方がそもそもパブリックコメントという言葉の意味がわからない世代がいるということを知りたいというご意見があった。その時に事務局の方がパブリックコメントには「意見募集」という言葉を入れてお示しするとの回答があったが今は実際にそのようになっているのか？
事務局	ホームページに掲載する際は「市民意見募集」という形で募集されている。
委員長	6ページの資料でも確かに「市民意見募集」となっている。漢字だと意味が伝わりやすい。全庁で分かりやすく伝わるように取り組まれると良い。

(3)校区まちづくり協議会の設立状況及び加入率について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員長	昨年の会議でのご意見を受けてまち協とはどういうものかという説明を入れて頂いた。最大の3.2ポイントプラスになっている倉永校区まちづくり協議会の増加の要因は？
-----	--

事務局	まちづくり協議会では、町内公民館に加入者されている正会員だけではなく、リサイクルの管理などでまちづくりに関わっている町内公民館の未加入者を暫定的に準会員として加入率に含めている。人数について報告上で取りこぼされていたもののご報告を頂いた。
藤谷委員長	中友校区まちづくり協議会は出来て間もなく減少してしまっているが、その理由は？
事務局	中友校区は自治会が少なくマンションが多い関係で町内公民館の加入率が低い。みなと校区では2つの自治会が抜けられた。一つは長年自治会長をされていた方のノウハウが共有されておらず、他の方が担えず解散した。もう一つは自治会としては残るが、まち協の事業に参加するのが難しくなり脱会という形になった。
委員長	マンションでは管理している不動産会社から加入してくださいという話は言わないのか？
事務局	賃貸では協力してくれる不動産会社もあるが、購入型のマンションになると難しい。子育て世代の未加入者に対しては、子ども(学校)を通じてまち協の事業の案内をされている。
委員	校区から管理会社、管理組合に話はするが、会議とかに出てこられることはない。新設住宅地に加入のお願いにいくが全部断られる。公民館に入って得なことは？なくても生活していける。そんな話になると、自由参加なので強制はできない。仕組みから変えていかないと…。加入している方も高齢者なのでいつ自治会を離脱されるかは時間の問題。無くなった後にどう再編していくのか、一旦ゼロにしてしまってみて皆さん必要だと分かれば、そういう組織が地元で出来上がっていくのでは。今残っている公民館長さんは地元の親睦は必要だし、何かあった時は皆で助け合うという気持ちを持っていらっしゃる方がほとんどで、まち協の事業に関しても積極的に動いてもらっている。
委員	今年大正校区では子どもたちの夏休みの宿題を応援しようということで寺子屋事業をした。裏方の手伝いをしたが、事業の後にまち協の青年部の主催でバーベキューをした。参加費はまち協の方と、それ以外の方で設定されていた。自分の子どもたちがまち協のイベントに楽しそうに参加していたら、親が何もしないのは心苦しい。親が子どもに引っ張り出される。バーベキューに参加してみると、まち協に加入している方がお得だ、安くなると感じると参加しようかなという気持ちになり、加入に繋がると思う。
委員	明治校区まち協には子ども会がなく、小学校と一緒に生徒を全部子ども会に入れていける。まち協の事業をする時は各公民館長にお知らせをして募集するが、一方で小学校にもお知らせを持っていった募集している。そういう場合にアパートとかマンションに住んでいる親御さんも何人か参加してくれる。しかしアパートやマンションには公民館や自治会がないから、団体として参加しないということになると、参加したくても出来ない状況になる。
委員長	まち協は団体参加ですね。 個人会員制度ができるとやりやすくなるかも知れない。
事務局	個人も会員になれるが、運営や会議のなかでどのように関わっていただくかとなると難しい。
委員	イベント先で、ここで会員登録の手続きができますよと分かるブースがあれば、子どもたちとイベントで盛り上がった勢いで「入ろうかな」と加入への流れができるかも知れない。チラシを子ども経由でもらう時は家にいて冷静で「入らなくてもいいかな」と思ってしまう。
委員	隣に住んでいた方が亡くなった時に、子どもさんが遠方ですぐに駆け付けられなかった。お隣のことと思って色々関わったが、亡くなった方が公民館に加入していたので、公民館長が駆けつけてくれ、地元に住んでいないとどうしたらよいか分からないようなことを色々アドバイスしてくれた。公民館に加入していたからこそ、亡くなった親のことでも地域の支え合いがあった。そういうつながりがあると、子どもも親の分の会費を払っておかないと、という気持ちになるかも知れない。

(4)令和7年度地域活動インターンシップ研修制度について

事 務 局	(別紙資料により説明)
-------	-------------

(質 疑)

委 員 長	この件に対してなにか意見はあるか？ 市が職員に対して行っている事業ということ。
委 員	これはなかなか良い制度だと思う。

(5)市民活動の状況について

事 務 局	(別紙資料により説明)
-------	-------------

(質 疑)

委 員	市民活動団体は着実に増えている。 この件に対して何か意見はあるか？
	意見なし

(6)その他

事 務 局	来年度条例施行10周年を迎える。これまでの大牟田市の取り組みについてはこの委員会で報告をしてきている。その内容を振り返るために、事務局で資料を整理し、条例に基づき進めてきた協働のまちづくりの10年間について総括をしていきたい。その進め方については、委員長と副委員長との協議で決めていきたいと考えている。何か具体的に評価検証が必要な内容があればご意見を頂きたい。報告については本委員会でお諮りいただくが、委員の皆様にご協議頂きたい内容があれば、別途本委員会を開催させていただきたいと考えている。趣旨や進め方にご意見を賜りたい。
-------	--

(質 疑)

委 員 長	ご意見は後日でも、何かあれば事務局まで。
-------	----------------------

(7) 閉会 (12:15)